

平成30年度病害虫発生予察注意報第6号

平成30年10月2日
愛 知 県

作物名：キャベツ

病害虫名：キャベツ黒腐病

1 発生地域 県内全域

2 予想発生量 多い

3 注意報発表の根拠

- (1) 9月30日から10月1日にかけて台風24号が通過し、強風を伴う降雨があった。
- (2) 9月27日名古屋気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の降水量は多いと予想されるため、発病に好適な条件が続く。

4 防除対策

- (1) 降雨が予想される場合は、降雨前後に予防のために銅剤等を散布する。すでに発病が認められたほ場では、治療効果のある抗生物質剤等を含む薬剤を散布する(表)。
- (2) 害虫の食害痕も病原菌の侵入口となるため、害虫の防除も徹底する。
- (3) 中耕作業によって生じる傷口は病原菌の侵入口となるので、発生ほ場では中耕作業を控えるか、株際を避け、植物体をなるべく傷つけないよう注意する。中耕作業を行った場合は、速やかに薬剤を散布する。
- (4) 地下水位の高いほ場や排水不良のほ場では、排水対策を行い、過湿状態にならないようにする。

表 キャベツ黒腐病に対する主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	系統	FRACコード
キノンドーフロアブル	800~1000倍	収穫14日前まで	3回以内	有機銅	M01
アグレプト水和剤	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	抗生物質	25
バリダシン液剤5	800倍	収穫7日前まで	5回以内	抗生物質	U18
カスミンボルドー	1000倍	収穫7日前まで	4回以内 ¹⁾	抗生物質・無機銅 ²⁾	24・M01
カセット水和剤	1000倍	収穫7日前まで	3回以内 ¹⁾	抗生物質・キノロン	24・31
Zボルドー ³⁾	500倍	—	—	無機銅 ²⁾	M01

FRAC コードは殺菌剤の作用機構による分類を示します。

FRAC コードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/lab0/jfrac/pdf/code_pdf01.pdfを御覧ください。

- 1) カスミンボルドーとカセット水和剤は、同一の抗生物質を含むため、両剤を合わせた使用回数は4回まで。
- 2) 無機銅を含む薬剤は、品種、作型により薬害を生じるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤(クレフノンなど)を加用すること。
- 3) 結球期以降の散布は薬害を生じるおそれがあるので、結球初期までに散布する。
農薬の散布に当たってはラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線471